

## 前後2カメラドライブレコーダー

## DK01

室内カメラオプション対応可

STARVIS



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
本書は取り付けおよび操作手順について記載してあります。  
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。



事故発生時は記録された映像が上書きされないように、必ず電源 OFF してから microSD カードを取り出して大切に保管してください。



本製品が動作した状態（駐車監視録画中含む）で microSD カードの取り出しをおこなわないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車の ACC を OFF にした後、本体カメラの電源ランプが完全に消灯したことを確認し、microSD カードの取り出しをおこなってください。

※駐車監視機能が ON の場合は、駐車監視機能を OFF にしてから microSD カードの取り出しをおこなってください。

（駐車監視録画の ON/OFF 方法 □□ P.39）

（microSD カードの取り出し方法 □□ P.57）



取り付けは、カーディーラーや専門業者の指示を受けておこなってください。

# 目次

## はじめに

安全上のご注意	1
使用上のご注意	3
知っておいていただきたいこと	9
製品内容	10
各部の名称とはたらき	11

## 取り付け

カメラを取り付ける際のご注意	13
本製品の接続図	14
カメラの画角	14
本体カメラの取り付け	15
本体カメラの配線例	15
本体カメラの取付方法	16
リアカメラの取り付け	18
リアカメラの配線例	18
リアカメラの取付方法	19
動作確認	21
電源を ON する	21
SD カードのフォーマットをおこなう	21
GPS の受信状態を確認する	21
イベント録画の動作を確認する	22
常時録画の動作を確認する	23

## 録る

製品を使用する前に	24
エラーメッセージの種類	24
リセットスイッチとは	25
カバー固定ねじの使用方法	25
電源ランプの見かた	25
液晶ディスプレイの見かた	26
液晶ディスプレイの表示切替方法	27
フォルダの構成	28
映像ファイル名の書式	28
通常録画とタイムラプス録画	29
録画方法の種類	29
常時録画方法	33
常時録画を開始する	33
常時録画を停止する	34

常時録画を再開する	34
イベント録画方法	35
イベント録画の開始と停止	35
駐車監視録画方法	38
駐車監視録画とは	38
駐車監視録画の ON/OFF	39

## 見る

再生方法	40
本体カメラで再生・消去・保護する	40
再生モードの画面の見かた	41
パソコンで再生する	42
再生画面の見かた	44
専用ビューアソフトでの再生画面	44
「スクリーンショット写真」画面の操作方法	45
Windows Media Player での再生画面	46
保存方法	47
録画した映像をパソコンに保存する	47

## 各種設定

設定モードでの操作方法	48
設定内容一覧	50
ファームウェアを更新する	52



## その他

困ったときは	53
microSD カードについて	56
microSD カードをフォーマットする	56
microSD カードの取り出し方法	57
microSD カード対応一覧表	57
microSD カードへの記録時間の目安	58
製品仕様	60
さくいん	62
アフターサービス	63






# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、本製品を正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、本製品をお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。










- 注意事項は誤った取り扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。
 <b>注意</b>	「使用者が障害や物的損害を被るおそれが想定される」内容を示しています。


- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容を示しています。
	しなければならない「強制」内容を示しています。
	気をつけていただく「注意」内容を示しています。
 P.xx	参照先を示しています (xx はページ数)。
 <b>アドバイス</b>	本製品に関する補足情報を示しています。

### 警告

-  **運転者は走行中に本製品を操作しないでください**  
わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから操作をおこなってください。
-  **本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作したりしないでください**  
火災・感電・故障の原因となります。
-  **本製品を分解・改造しないでください**  
火災・感電・故障の原因となります。
-  **異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなど異常な状態では使用しないでください**  
発火して火災の原因となります。
-  **本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店または弊社へ点検・修理を依頼してください**  
そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
-  **穴やすき間にピンや針金を入れないでください**  
感電や故障の原因となります。
-  **本製品を医療機器の近くで使用しないでください**  
医療機器に影響を与えるおそれがあります。
-  **microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください**  
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
-  **ねじの緩みや両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検をおこなってください**  
運転の妨げや事故の原因となることがあります。

### 注意

-  **気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります**  
故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。



## 使用上のご注意

- ・本製品を使用中の交通違反に関しては、弊社は一切の責任を負いません。日頃からの安全運転をお心がけてください。
  - ・本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切の責任を負いません。
  - ・本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。それ以外の用途で使用した場合の不具合等に関して、弊社は一切の責任を負いません。
  - ・本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
    - ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所
    - ・湿度が高い所やほこりの多い所
  - ・本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
    - ・本製品に静電気や電気ノイズが加わった場合
    - ・本製品を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合
    - ・長期間使用しなかった場合
    - ・パソコンでの操作時に誤った操作をおこなった場合
  - ・各端子に異物が入らないように、お取り扱いにご注意ください。故障の原因となります。
- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
  - ・本書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
  - ・本製品の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更したりする場合があります。
  - ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、弊社は一切の責任を負いません。

### 駐車監視機能ご利用についてのご注意

- ・ 駐車監視機能は常時電源を使用するため、車両バッテリーへ負荷がかかります。そのため、次の方は駐車監視機能のご利用をお控えください。
  - ・ 毎日乗車をされない方
  - ・ 1日の走行時間が短い方
  - ・ 長期間バッテリーの交換をされていない方
  - ・ 電動型立体駐車場をご利用の方

車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## ⚠ 録画についてのご注意

- 本製品は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 万一の事故発生時に、映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損したりした場合など、本製品の動作有無にかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- 録画条件により、録画のコマ数（フレームレート）が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に液晶ディスプレイ等を注視したり、操作したりしないでください。
- ワンタッチ録画（手動）するときには周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作をおこなってください。
- 事故発生時は、映像が上書きされないように必ず microSD カードを本製品から取り出し、保管してください。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

### microSD カードに関するご注意

- SD カードリーダーライターは、使用の microSD カード容量に対応したものを  
ご使用ください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用す  
ると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなるおそれがあ  
ります。
- microSD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態でおこなって  
ください。本製品の動作中に microSD カードの取り出しや挿入をおこなうと、  
microSD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こすおそれがあります。
- microSD カードを本製品に挿し込む際、挿し込み方向を間違えないでください。  
故障や破損の原因となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的に microSD カードをフォーマット  
(初期化) することをお勧めします。
- microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。  
1日2時間程度使用する場合で約2～3年を目安に交換することをお勧めします。  
また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。  
※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、  
正常に動作しなくなります。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の  
責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンへの保存や DVD など別媒体での保管をお勧め  
いたします。
- 付属品以外の microSD カードを使用する場合は、初回起動時に本製品で必ず  
フォーマット (初期化) してください。
- 本製品をご使用中にデータが消失した場合、データ等の保証について、弊社は  
一切の責任を負いません。
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。動作が不安定  
になるおそれがあります。

**⚠ 取り付けに関するご注意**

- ・電源ケーブルは、必ず付属品をご使用ください。
- ・本製品は取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本製品の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込むおそれがあります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となるおそれがあります。
- ・ラジオアンテナ付近に配線をおこなうとラジオの受信感度が下がるおそれがあります。
- ・本書に記載のある付属品以外や別売品以外を使用した場合の動作に関して、弊社は一切の保証はいたしません。
- ・リアガラスにスモークフィルムが貼ってある車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、後方の道路状況が見えにくい映像が記録されるおそれがあります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品の取り付け後、サンシェード等の日除けを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本製品の故障につながるおそれがあります。

**⚠ 液晶ディスプレイに関するご注意**

- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなるおそれがあります。あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 60℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 - 10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶ディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

## 使用上のご注意

---

- 液晶ディスプレイは 99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

### GPS 測位に関するご注意

- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 10 分以上の時間がかかる場合があります。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPS を測位できないおそれがあります。
- 走行速度の表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際と異なる場合があります。

### 保証に関するご注意

- 本製品にはお買い上げから 3 年間の保証がついています。ただし、消耗品である microSD カードは保証の対象となりません。

### 修理に関するご注意

- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切おこなっておりません。

# 知っておいていただきたいこと

## ● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

## ● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

## ● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビなどでチャンネルを受信 (設定) している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取り付けてください。

## ● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

## ● GPS による速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。また車両が停車中の状態でも、速度表示が 0km/h にならない場合があります。これは GPS 受信の誤差によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## ● STARVIS™ について

本製品のカメラには、夜間やトンネル内などの暗い場所でも明るく撮影できる、高感度、高画質を実現した裏面照射型技術「STARVIS」を採用した CMOS センサーを搭載しています。

※ STARVIS™ および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です。

## ● 本製品のファイルシステムについて

- 本製品は記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムになっており、microSD カードをフォーマットする頻度を大幅に減らし、使用することができます (microSD カードに関するご注意は (P.6) を参照してください)。
- パソコンなどでフォーマットをおこなった microSD カードを本製品へ挿入すると microSD カードのフォーマット画面が表示されます。そのまま使用する場合はフォーマットをおこなってください。

## ● 使用フォントについて

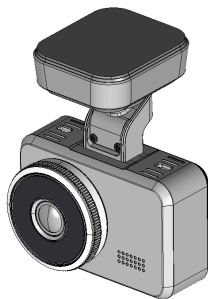
- 本製品は表示フォントに「GenEiGothicP Regular」 (<https://okoneya.jp/font/>) を使用しています。

Licensed under SIL Open Font License 1.1 (<http://scripts.sil.org/OFL>)

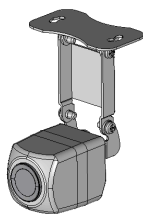
# 製品内容

ご使用いただく前に、以下の内容が揃っていることを確認してください。

## 本製品 (DK01)

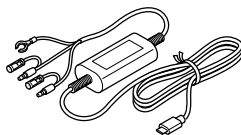


本体カメラ(フロントカメラ)



リアカメラ

## 付属品



電源ケーブル  
(約3.3m)



microSDカード  
(64GB/1枚)



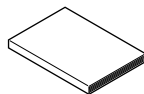
リアカメラケーブル  
(約3m)



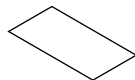
リアカメラ延長ケーブル  
(約7m)



カバー固定ねじ  
( P.25)



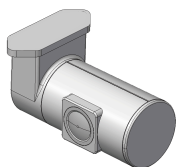
取扱説明書  
(本書/1冊)



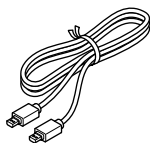
保証書

## オプション品 (DK01-i)

別売品です



室内カメラ

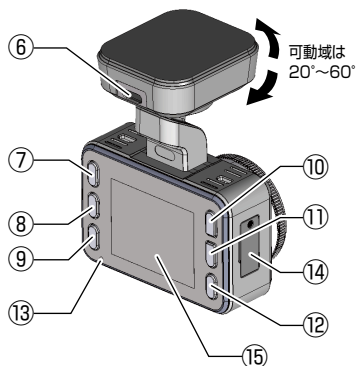
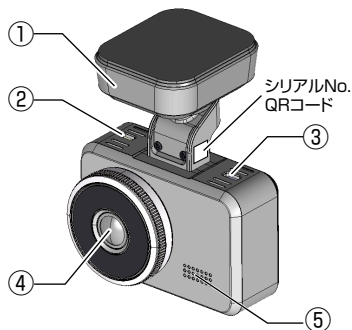


室内カメラケーブル  
(約2m)

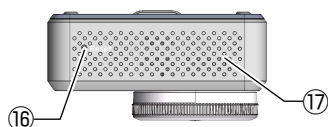


# 各部の名称とはたらき

## ●本体カメラ（フロントカメラ）



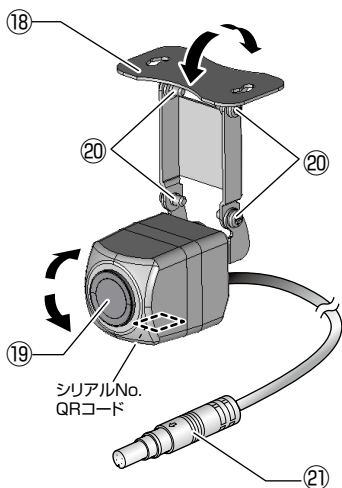
〈底面〉



番号	名称/はたらき
①	取付ステー(GPSアンテナ内蔵)
②	リアカメラ接続口 リアカメラケーブルを接続します。
③	室内カメラ接続口 室内カメラケーブルを接続します。
④	カメラレンズ部 (保護フィルムをはがしてご使用ください)
⑤	スピーカー 再生時の音声などを出力します。
⑥	電源接続口 電源ケーブルを接続します。
⑦	「ON/OFF」ボタン (□P.37) 長押しでプライバシー保護録画へ移行します。
⑧	「  」ボタン(メニューボタン) ・録画を停止します。 ・設定モードを表示します。(□P.48)
⑨	「  」ボタン(再生ボタン) ・録画を停止します。 ・再生モードを表示します。(□P.40)
⑩	「  」(アップ)ボタン / 「  」(ダウン)ボタン ・映像を切り替えます。(□P.27)
⑪	・各画面でカーソルを移動します。 ・早送り/巻き戻しをおこないます。
⑫	「OK REC」ボタン ・ワンタッチ(手動)録画を開始します。 ・選択した項目を決定します。
⑬	電源ランプ 本製品の動作状況を表示します。(□P.25)
⑭	カバー(microSDカード挿入口)
⑮	液晶ディスプレイ (保護フィルムをはがしてご使用ください)
⑯	リセットスイッチ 本製品が正しく動作しなくなった時に押します。 リセットすると、強制的に再起動します。
⑰	マイク 周りの音を収集します。

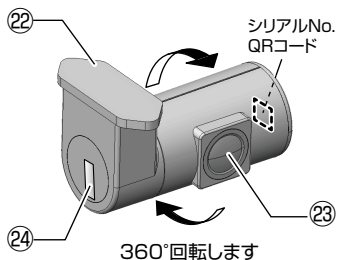
## 各部の名称とはたらき

### ●リアカメラ



番号	名称/はたらき
⑱	取付ステー
⑲	カメラレンズ部 (保護フィルムをはがしてご使用ください)
⑳	角度調整ねじ 角度を調整する際は緩めてください。
㉑	リアカメラ接続端子(約0.5m) リアカメラケーブルまたは、リアカメラ延長ケーブルと接続します。

### ●室内カメラ (オプション品)



番号	名称/はたらき
㉒	取付ステー
㉓	カメラレンズ部 (保護フィルムをはがしてご使用ください)
㉔	ケーブル接続口 室内カメラケーブルを接続します。

# カメラを取り付ける際のご注意

カメラを車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

## ⚠ 警告

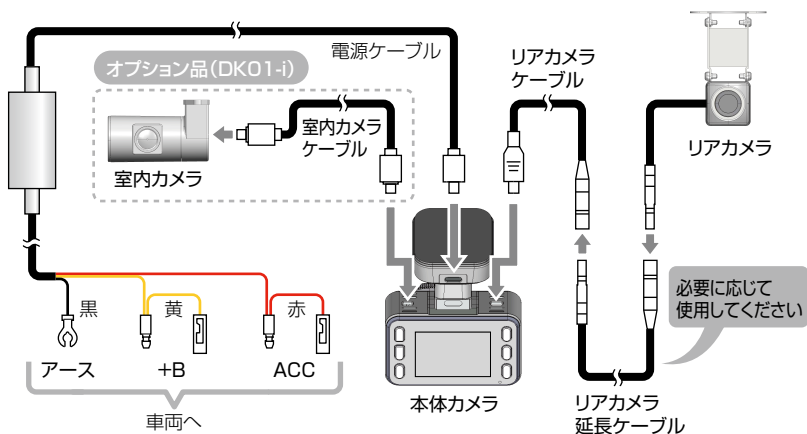
- 事故発生時の衝撃により本体カメラやリアカメラなどが外れる場合があります。本体カメラおよびリアカメラなどを貼り付ける際は、貼り付け部分の油分や汚れを脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。

## ⚠ 注意

- 本製品の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本製品を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本製品を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本製品には付属品以外のケーブルは使用しないでください。
- 本体カメラおよびリアカメラなどを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本製品は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体カメラの上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本製品は防水構造ではありません。雨などで本製品やケーブルがぬれないよう注意してください。
- 電源を接続した状態で角度調整をおこなうと、衝撃を検出したりスイッチを押してしまったりして映像を記録してしまうことがあるため、注意してください。
- 自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故やケガの原因となります。
- カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまいますので、取り付けの際はレンズに触れないよう注意してください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体カメラをフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをおこなってください。また、本製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- 一度貼り付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。

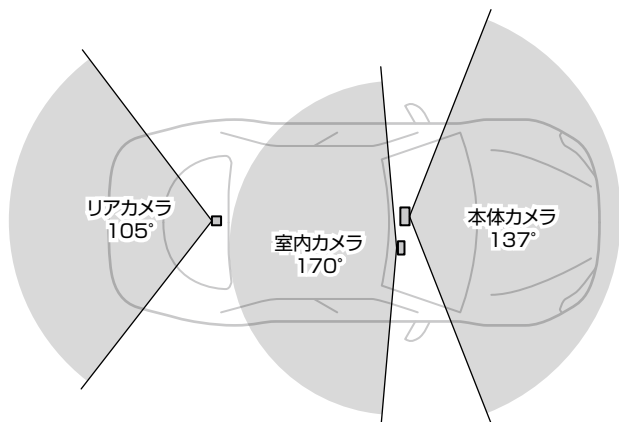
## 本製品の接続図

以下の図を参考に接続をおこなってください。



## カメラの画角

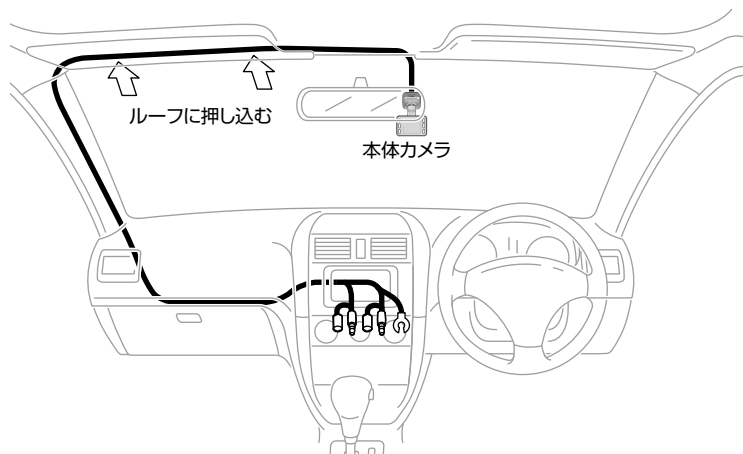
以下の図は、各カメラの水平画角のイメージ図です。取り付け時の参考にしてください。



# 本体カメラの取り付け

## 本体カメラの配線例

以下の図を参考に配線をおこなってください。



取り付け

\* 配線やケーブルの余長は、市販のハーネス固定テープや結束バンド等の固定部材を使用して運転の妨げにならないよう確実に固定してください。必要な場合は、必ずカーディーラーの指示を受けて配線をおこなってください。

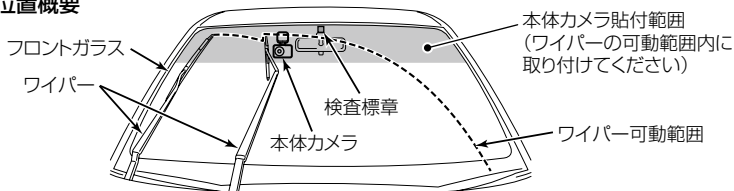
\* 図は一例です。配線経路などは、取り付ける車種や場所によって異なります。

## 本体カメラの取り付け

### 本体カメラの取付方法

本体カメラはフロントガラスに取り付けます。保安基準に適合させるため、必ず以下の図および注意事項を確認のうえ、取り付けをおこなってください。

#### ● 取付位置概要



#### ⚠ 警告

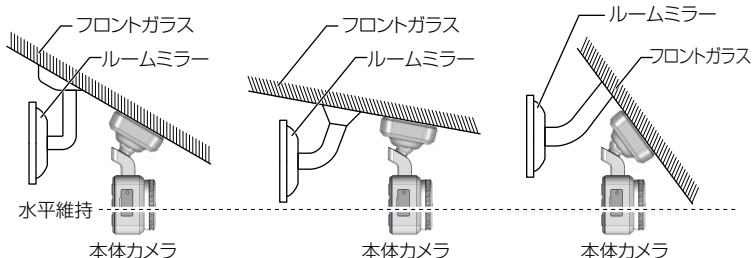
- フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。  
※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条
- カメラの撮影範囲内がワイパーの可動範囲内に収まるように取り付けてください。可動範囲外に取り付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより鮮明な映像が撮影できないおそれがあります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- 本体カメラは、検査標章と重ならないように取付位置を決めてください。
- カメラの撮影範囲には黒セララインまたは黒セラドットパターンなどの着色範囲を避けて取り付けてください。

#### ⚠ 注意

- 地デジやETC等のアンテナの近くには設置しないでください。
- 車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できないおそれがあります。
- 本体カメラの取付位置（フロントガラス）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずイベント録画衝撃感度の設定を見直してください。
- 本体カメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

## 1. 本体カメラの取付位置を決めます。

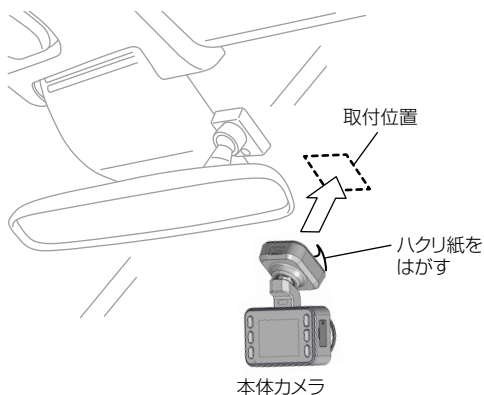
- 一般的な乗用車
- フロントガラスが寝ている車
- ワンボックスやトラックなど



### ⚠ 注意

- 図のように、前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本体カメラを取り付けた状態で、図のように本体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

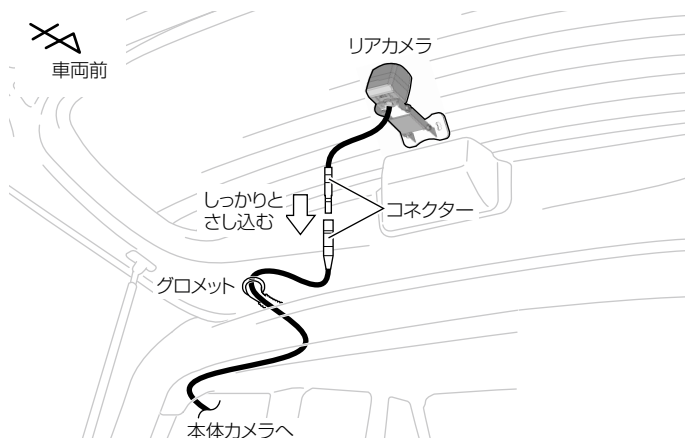
## 2. 取付ステーのハクリ紙をはがし、本体カメラをガラス面に取り付けます。



# リアカメラの取り付け

## リアカメラの配線例 (例. ハッチバックの場合)

以下の図を参考に配線をおこなってください。



- \* 配線やケーブルの余長は、市販のハーネス固定テープや結束バンド等の固定部材を使用して運転の妨げにならないよう確実に固定してください。必要な場合は、必ずカーディーラーの指示を受けて配線をおこなってください。
- \* 図は一例です。配線経路などは、取り付ける車種や場所によって異なります。

### ⚠ 注意

- リアカメラのコネクターは、溝を合わせ奥までしっかりとさし込んでください。



### アドバイス

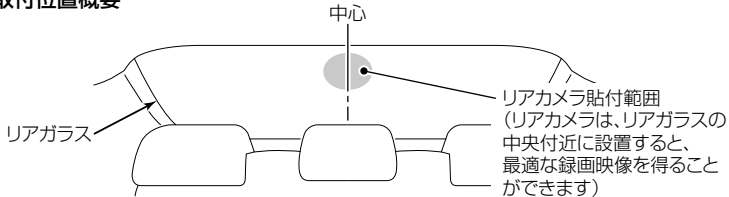
- リアカメラに接続するコネクターはストレート型になっており、バックドアのグロメット内を通しやすくなっています。



## リアカメラの取付方法

リアカメラはリアガラスに取り付けます。保安基準に適合させるため、必ず以下の図および注意事項を確認のうえ、取り付けをおこなってください。

### ●取付位置概要



### ⚠ 注意

- リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリアガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムが貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなるおそれがあります。
- リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムが貼られている車両の場合、リアカメラはリアトレイなどに取り付けてください。
- ラジオアンテナや GPS、地デジアンテナ付近にリアカメラケーブルを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リアワイパーが装着されている車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。



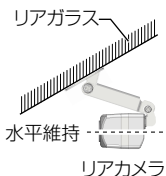
### アドバイス

- 図のように、後方を遮ることがないように取り付けてください。
- リアカメラの正像 / 鏡像を設定してください ( P.50 )。
  - リアカメラの映像をそのまま表示する場合：正像
  - リアカメラをバックカメラのように使用する場合：鏡像

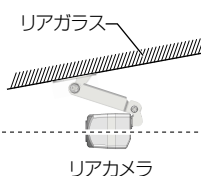
# リアカメラの取り付け

## 1. リアカメラの取付位置を決めます。

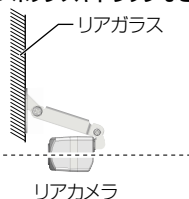
### ● 一般的な乗用車



### ● リアガラスが寝ている車



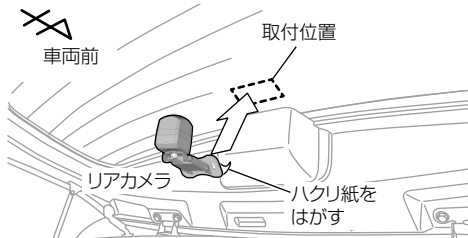
### ● ワンボックスやトラックなど



### ⚠ 注意

- 図のように、後方を遮ることがないように取り付けてください。
- リアカメラを取り付けた状態で、図のようにリアカメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 熱線を避けて取り付けてください。
- 取り付け場所によっては、リアガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の妨げとなるおそれがあります。

## 2. 取付ステーのハクリ紙をはがし、リアカメラを取り付けます。



### 👉 アドバイス

- 必要に応じて、先に取付ステーを車両側に取り付けてからリアカメラを取り付けてください。
- 角度調整をおこなう際は、角度調整ねじを緩めて角度調整をおこなってください。その際、ねじを落としたり、なくしたりしないよう注意してください。

# 動作確認

## 電源を ON する

### 電源 ON の方法

本製品の電源を ON するには、電源ケーブルが車両に繋がれている状態で車の ACC を ON にします。電源が ON されると、液晶ディスプレイにオープニング画面が流れます。そのあと、『システムを起動します』と音声でお知らせし、通常録画を開始します。

\* エラーメッセージについては、( P.24 ) を参照してください。



取り付け

### 電源 OFF の方法

車の ACC を OFF にすると、最後の映像ファイルを安全に保存し、電源ランプが消灯します。そのあと、『システムを終了します』と音声でお知らせし、本製品の電源が OFF になります。



## SD カードのフォーマットをおこなう

新しい microSD カードや付属品以外の microSD カードを初めて使用する場合は、本体カメラで microSD カードのフォーマット（初期化）を必ずおこなってください ( P.56 )。

## GPS の受信状態を確認する

1. 電源を ON した後、液晶ディスプレイの GPS アイコンが白く表示されていることを確認してください。

GPS を受信することで本製品の日時を自動で設定します。



## イベント録画の動作を確認する

- 録画モードで「OK REC」を押します。

『ピピッ』と音が鳴り、液晶ディスプレイに「●イベント(手動)録画」が表示され、音声および映像の記録を開始します。

\* 音声は自動で録音します。



- 「▶」を押し、録画を止めます。

『現在の録画を中止します』と表示されますので、「▲/▼」で「確認」を選択し「OK REC」を押してください。



- 「イベント(衝撃/手動)録画」を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。

- 再生する映像を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。

「OK REC」をもう一度押すと、再生を開始します。



### 《確認内容》

- 「イベント(衝撃/手動)録画」フォルダに、映像が正常に記録されていること。
- 映像に音声録音されていること。

- 「⚙」を押し、「消去」を選択し、「OK REC」を押します。

動画が消去されます。

- 「ON/OFF」を押し、録画モードに戻ります。

自動で常時録画を開始します。



## 常時録画の動作を確認する

### 1. 「▶」を押し、録画を止めます。

『現在の録画を中止します』と表示されますので、「▲/▼」で「確認」を選択し「OK REC」を押してください。



### 2. 「通常録画」を選択し、「OK REC」を押します。

### 3. 再生する映像を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。

「OK REC」をもう一度押すと、再生を開始します。



#### 《確認内容》

- 「通常録画」フォルダに、映像が正常に記録されていること。
- 映像に音声録音されていること。

### 4. 「⚙」を押し、[消去]を選択し、「OK REC」を押します。

動画が消去されます。

### 5. 「ON/OFF」を押し、録画モードに戻ります。

自動で常時録画を開始します。



# 製品を使用する前に

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

## ⚠ 注意

- 車の運転中は本体カメラの操作を絶対におこなわないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作するか、車両を停車してから操作してください。
- ボタンを強く押ししたり、先の尖ったもので押ししたりしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面の汚れは、市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸、アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。
- 映像の記録は、microSD カードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中に microSD カードが取り出されると、記録の映像の一部が削除されたり、microSD カードがこわれたりするおそれがあります。
- 車の ACC を ON してから、録画の開始まで約5秒かかります。必ず録画が開始されていることを確認してから車を発進させてください。

## エラーメッセージの種類

### microSD カード認識エラー

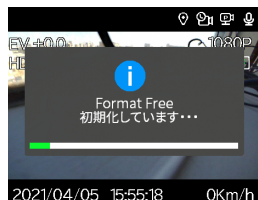
microSD カードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常を本製品が検知した場合、電源ランプが点滅し、音声案内と、本体カメラの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

\* フォーマットしても液晶ディスプレイに「SD カードが異常です」と表示される場合は、新しい microSD カードに交換してください。



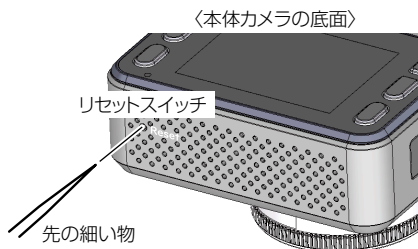
### microSD カードファイルシステムエラー

新しい microSD カードと交換して microSD カードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、自動的に microSD カードをフォーマット（初期化）します。



## リセットスイッチとは

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こしたりした場合は、本体カメラの底面にあるリセットスイッチを先の細い物で押して、本体システムを再起動してください。



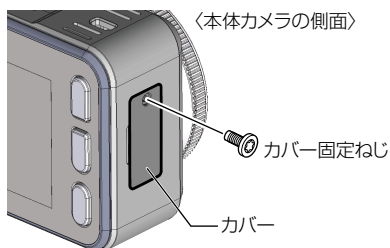
### アドバイス

- リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。

## カバー固定ねじの使用方法

カバー固定ねじでカバーを固定することができます。必要に応じてご使用ください。

\* カバー固定ねじの締め付けは、ねじ山に合った工具が必要です。



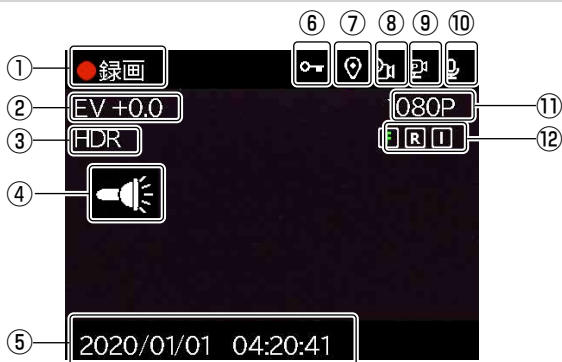
## 電源ランプの見かた

本製品の動作状況を電源ランプで確認することができます。

電源ランプ表示	本製品動作	内 容
赤点滅(1秒)	録画中	正常に録画しています
赤点灯	録画停止中	録画を停止しています
赤点滅(0.5秒)	本製品の異常	本製品になんらかの異常があります

※電源ランプは、駐車監視録画中も点滅 / 点灯します。

## 液晶ディスプレイの見かた

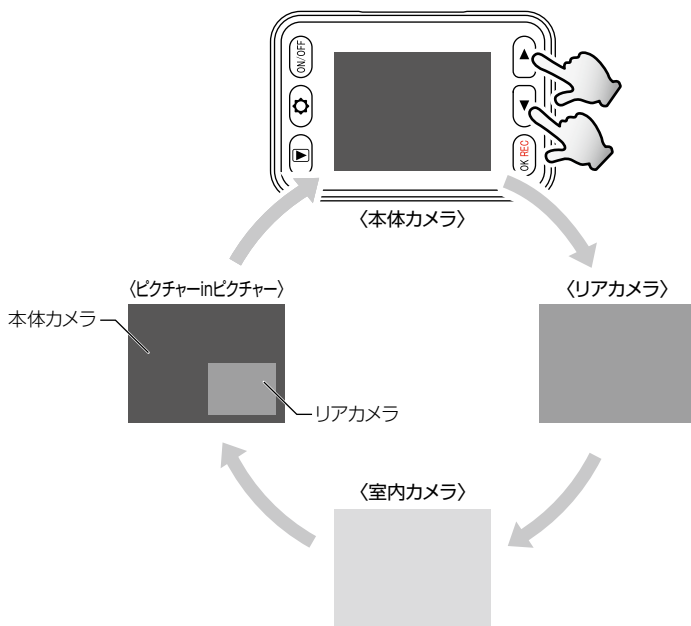


番号	はたらき	番号	はたらき
①	録画モードを示しています <b>録画</b> ：常時録画 <b>イベント(衝撃)録画</b> ：衝撃録画 <b>イベント(手動)録画</b> ：ワンタッチ録画 <b>タイムラプス録画</b> ：1fps録画	⑦	GPSの受信状態を示しています <b>📍</b> ：受信 <b>📍</b> ：未受信
②	EV値(明るさ)を示しています +3(明るい)・・・-3(暗い)	⑧	<b>📺</b> ：1fps(タイムラプス)録画中 非表示：27.5fps録画中
③	HDR(ハイダイナミックレンジ)の ON/OFFを示しています 表示：ON      非表示：OFF	⑨	駐車監視録画のON/OFFを示しています <b>🚗</b> ：ON      非表示：OFF
④	赤外線照射のON/OFFを示しています <b>💡</b> ：ON      非表示：OFF	⑩	音声録音のON/OFFを示しています <b>🎤</b> ：ON <b>🎤</b> ：OFF
⑤	年月日、時分秒を示しています	⑪	録画中の映像の解像度を示しています 1080P(FULL HD) 720P(HD)
⑥	現在録画中の映像が保護されている かを示しています <b>🔑</b> ：保護されています 非表示：保護されていません	⑫	現在表示しているカメラを緑色で示 しています <b>F</b> ：本体カメラ <b>R</b> ：リアカメラ <b>I</b> ：室内カメラ



## 液晶ディスプレイの表示切替方法

録画中、液晶ディスプレイの表示を「▲/▼」で切り替えることができます。



### アドバイス

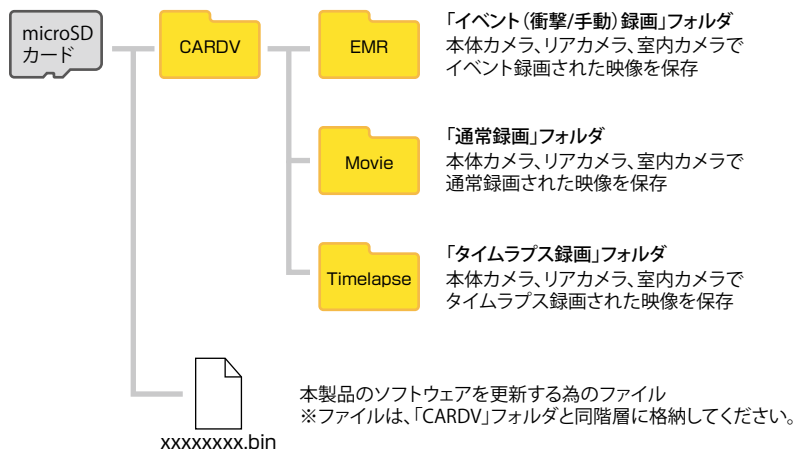
- 室内カメラはオプション品です。接続していない場合は表示されません。
- ピクチャー in ピクチャーは、本体カメラ（映像：大）とリアカメラ（映像：小）を映します。変更することはできません。

## 製品を使用する前に

### フォルダの構成

本製品が記録した映像は、各項目のフォルダに保存されます。

パソコンで再生するときに参照してください。



### 映像ファイル名の書式

映像ファイルの名称は以下の内容で構成されています。

年月日と時分秒は、本製品に設定されている情報をもとに決定します。

映像ファイル名から、録画された年月日や時分秒が知りたい場合に参照してください。

年 月 日 時 分 秒 ナンバリング 拡張子  
YYYY\_MMDD\_hhmmss\_000001□.MP4

- F** 本体カメラ
- R** リアカメラ
- I** 室内カメラ

# 通常録画とタイムラプス録画

本製品の録画形式は、「通常録画（27.5fps）」と「タイムラプス録画（1fps）」の2つの形式があります。

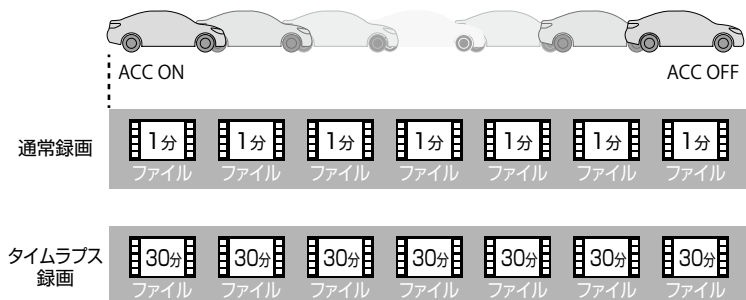
録画形式	フレームレート数	説明
通常録画	27.5 fps	1秒間に27.5フレームずつ撮影する録画形式です。25fpsと30fpsのほぼ中間のフレームレートとすることで、東日本と西日本の両エリアのLED信号機に対応しています。
タイムラプス録画	1 fps	1秒間に1フレームずつ撮影する録画形式です。映像ファイルのサイズを小さくすることで、長く録画映像を記録できます。再生時はコマ送りで早送り再生します。

## 録画方法の種類

本製品は録画形式により1ファイルあたりの記録時間が異なります。

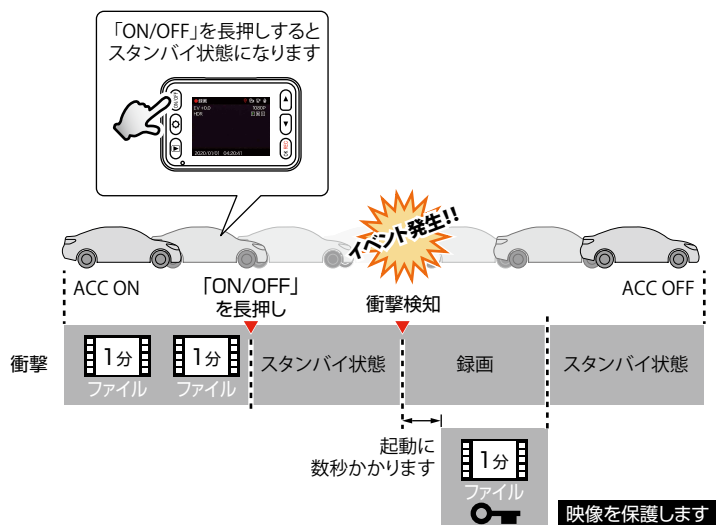
### 常時録画（ P.33）

- ACC ON（電源 ON）から ACC OFF（電源 OFF）まで録画をおこないます。
- 録画した映像は、「通常録画」フォルダに保存します。
- オプション品「DK01-i」（別売）の室内カメラを接続した場合、室内カメラでタイムラプス録画をおこなうことはできません。タイムラプス録画は、フロントカメラとリアカメラのみおこなうことができます。



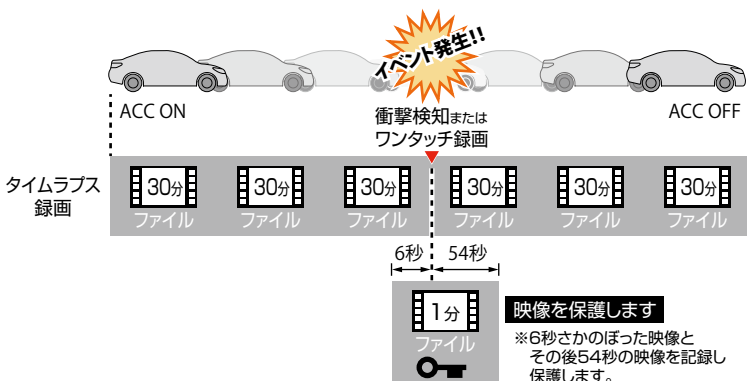
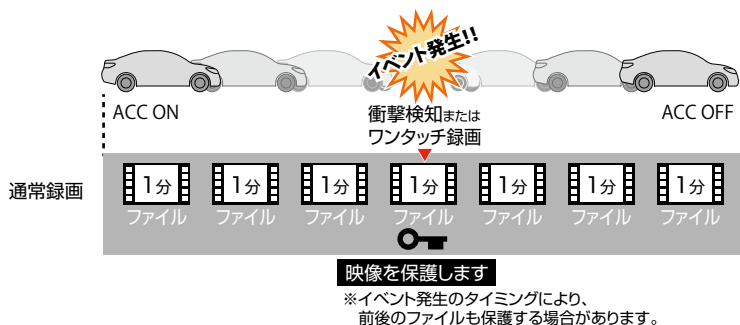
### プライバシー保護録画 ( P.37 )

- 本体動作中、「ON/OFF」を長押しすると、一旦電源 OFF（通常録画、音声録音、液晶ディスプレイとも OFF）します。その後は、衝撃検知により起動してイベント（衝撃）録画をおこないます。
- 録画した映像は、「イベント（衝撃 / 手動）録画」フォルダに保存します。



## イベント録画 ( P.35 )

- ・ 常時録画中にイベント（衝撃検知またはワンタッチ録画）が発生した場合、録画中の映像を保護します。
- ・ 保護された映像は、「イベント（衝撃 / 手動）録画」フォルダに保存します。
- ・ オプション品「DK01-i」（別売）の室内カメラを接続した場合、室内カメラでタイムラプス録画をおこなうことはできません。タイムラプス録画は、フロントカメラとリアカメラのみおこなうことができます。

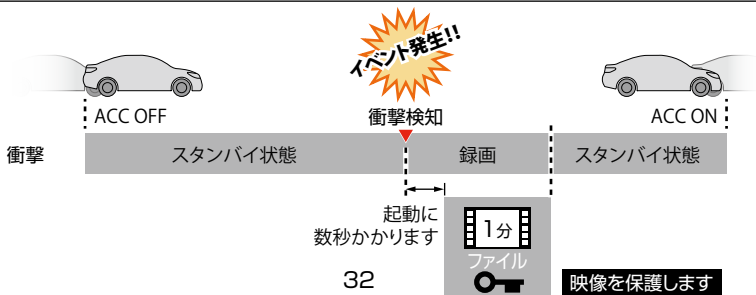
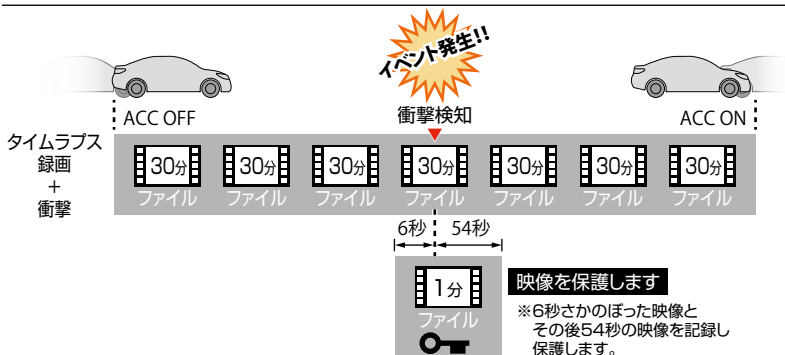
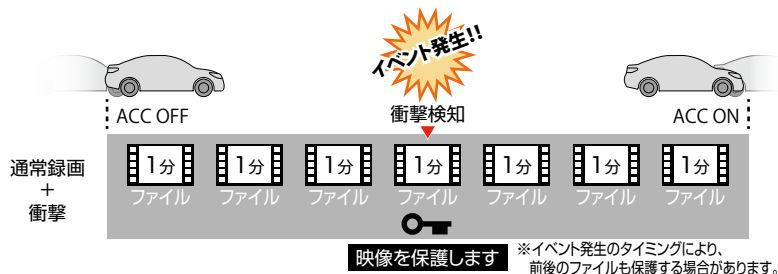


### アドバイス

- ・ タイムラプス録画中の場合は、イベント発生から6秒さかのぼった映像とその後54秒の映像を1分のファイルとして記録し保護します。
- ・ 衝撃の感度は、「イベント録画衝撃感度」で変更することができます。初期値は、「中」ですが、「OFF / 低 / 中 / 高」から選択することができます ( P.50 )。

## 駐車監視録画 ( P.38 )

- ACC OFF から ACC ON するまでの駐車中に録画をおこないます。イベント発生時の動作については、駐車監視の設定によって変わります ( P.51 )。
- 駐車監視録画した映像は、「通常録画」 / 「タイムラプス録画」フォルダに保存し、駐車監視録画中に保護された映像は、「イベント ( 衝撃 / 手動 ) 録画」フォルダに保存します。
- オプション品「DK01-i」(別売)の室内カメラを接続した場合、室内カメラでタイムプラス録画 + 衝撃録画をおこなうことはできません。タイムラプス録画は、フロントカメラとリアカメラのみおこなうことができます。



# 常時録画方法

- ・常時録画とは、ACC ON（電源 ON）から ACC OFF（電源 OFF）までの映像を microSD カードに連続して録画することです。
- ・録画形式が通常録画の場合の映像ファイルの長さは最大 1 分、タイムラプス録画の場合の映像ファイルの長さは最大 30 分です。
- ・古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・録画した全カメラの映像は、「通常録画」フォルダに保存します。

## 常時録画を開始する

### 1. microSD カードが挿入されていることを確認します。

microSD カードが挿入されていないときは、電源 OFF を確認してから microSD カードを挿入してください（[P.57](#)）。

### 2. ACC を ON にします。

本製品が起動した後、常時録画を開始します。

録画が開始されると液晶ディスプレイに

**●録画** が表示され、電源ランプ●（赤）が点滅します。



#### アドバイス

- 車の ACC を ON してから、録画の開始まで約 5 秒かかります。必ず録画が開始されていることを確認してから車を発進させてください。（[P.25](#)）。
- microSD カードチェック機能について、microSD カードの破損や不具合を見つけたらお知らせします（[P.24](#)）。

### 常時録画を停止する

#### 本製品の電源を OFF にして録画を停止する場合

##### 1. ACC を OFF にします。

車の ACC を OFF にすると、最後の映像ファイルを安全に保存し、電源ランプが消灯します。

そのあと、『システムを終了します』と音声でお知らせし、本製品の電源が OFF になります。

#### 本体カメラを操作して録画を停止する場合

##### 1. 録画中に「⊗」または「▶」を押します。

\* 『現在の録画を中止します』と表示されますので、「▲/▼」で [確認] を選択し「OK REC」を押してください。

\* しばらく操作をしないでおくと、録画モードに移行し、自動的に常時録画を再開します。



### 常時録画を再開する

##### 1. 「ON/OFF」を押します。

録画モードへ移行し、自動的に常時録画を再開します。





# イベント録画方法

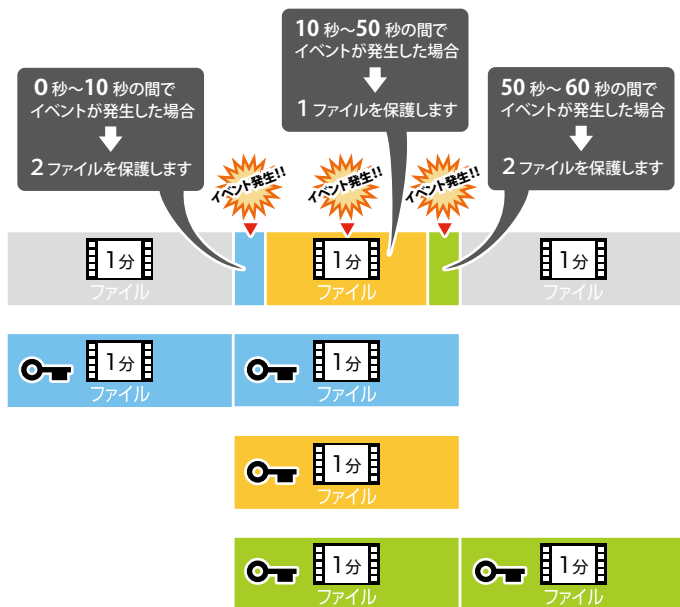
- ・イベント録画には「衝撃検知」と「ワンタッチ録画（手動）」の2種類があります。
- ・イベント録画（衝撃検知およびワンタッチ録画）が起動すると、録画形式に関わらず、1分間の映像を記録し保護します。その後、録画モードに戻り、常時録画を継続します。

## イベント録画の開始と停止

### 衝撃録画の方法

- ・本製品が一定以上の衝撃を検知すると、イベント録画が起動し映像を保護します。衝撃検知のタイミングによっては、前後の映像も保護します。保護する映像については下の図を参照してください。
- ・保護された映像は「イベント（衝撃/手動）録画」フォルダに保存します。

### 〈保護される映像のイメージ図〉



## ワンタッチ録画の方法

常時録画中に「OK REC」を押すと、録画中の映像が保護されます。

「OK REC」を押すタイミングによっては、前後の映像も保護します（保護する映像については、前述の〈保護される映像のイメージ図〉をご覧ください）。

保護された映像は「イベント（衝撃 / 手動）録画」フォルダに保存します。

### 1. 常時録画中に「OK REC」を押します。

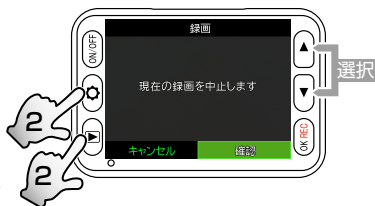
『ピピッ』と音が鳴り、液晶ディスプレイに **● イベント(手動)録画** が表示され、音声および映像の記録を開始します。



### 2. 「⚙」または「▶」を押して、イベント録画を停止します。

\* 『現在の録画を停止します』と表示されるので、「▲ / ▼」で [確認] を選択し「OK REC」を押してください。

\* 録画時間が1分を超えると、ワンタッチ録画が終了し、常時録画を再開します。



## プライバシー保護録画の方法

- 本体動作中、「ON/OFF」を長押しすると、一旦電源 OFF（通常録画、音声録音、液晶ディスプレイとも OFF）します。その後は、衝撃検知により起動してイベント（衝撃）録画をおこないます。
- 録画した映像は、「イベント（衝撃 / 手動）録画」フォルダに保存します。
- 「ON/OFF」以外のボタン操作はできません。

### 1. 本体動作中、「ON/OFF」を長押しします。

通常録画、音声録音、液晶ディスプレイとも OFF になります。



### 2. その後、衝撃検知すると起動してイベント（衝撃）録画をおこないます。



#### アドバイス


- 常時録画に戻す場合は、「ON/OFF」ボタンを押してください。

# 駐車監視録画方法

## 駐車監視録画とは


- ACC OFF から ACC ON するまでの駐車中に録画することを駐車監視録画と言います。
- 駐車監視録画は、最大 12 時間動作します。
- 録画した映像は、「通常録画」 / 「タイムラプス録画」フォルダに保存します。
- 駐車監視録画中に衝撃を検知すると、録画中の映像を保護します。衝撃検知のタイミングによっては、前後の映像も保護されます。保護された映像は「イベント（衝撃 / 手動）録画」フォルダに保存します。その後、録画モードに戻り、駐車監視録画を継続します。

### 注意

- 駐車監視機能を使用する際は、「駐車監視機能ご利用についてのご注意」（ P.4）をよく読んでから使用してください。



### アドバイス

- タイムラプス録画中の場合は、イベント発生から6秒さかのぼった映像とその後54秒の映像を1分のファイルとして記録し保護します。
- 駐車監視録画中の衝撃感度は、変更することができます。初期値は、「中」ですが、「低 / 中 / 高」から選択することができます（ P.51）。
- 駐車監視の設定を「衝撃」にしている場合は、衝撃検知から本製品が起動するまでの間は録画されません。

## 駐車監視録画の ON/OFF

1. 設定モードで [駐車監視] を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。



2. [通常録画 + 衝撃] を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。  
チェックボックスにチェックが入ります。

\* [OFF] にすると、駐車監視録画をおこないません。



録  
る

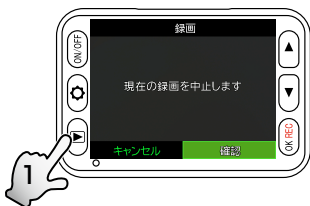
# 再生方法

映像の再生方法は、「本体カメラで再生する方法」と「パソコンで再生する方法」の2つの方法があります。

## 本体カメラで再生・消去・保護する

### 1. 「▶」を押します。

「現在の録画を中止します」と表示されますので、「▲/▼」で「確認」を選択し「OK REC」を押してください。



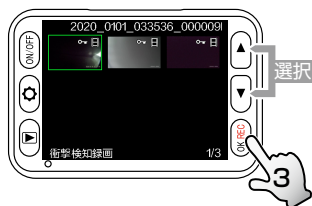
### 2. 再生したい録画フォルダを「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。

前の画面に戻るには「▶」を押してください。



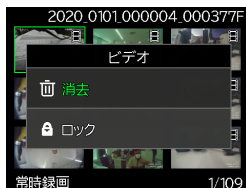
### 3. 再生したい映像を「▲/▼」で選択し、「OK REC」を押します。

「⚙」を押すと、「消去」と「ロック」を選択することができます。前の画面に戻るには、「⚙」か「▶」を押してください。



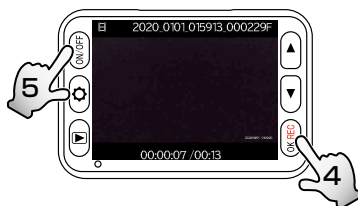
### アドバイス

- 映像を削除したいときは…  
「消去」を選択し、「OK REC」を押してください。  
映像が消去されます。
- 映像を保護したいときは…  
「ロック」を選択し、「OK REC」を押してください。  
映像が保護されます。



#### 4. 「OK REC」 を押し、映像を再生します。

「▶」を押すと、映像選択画面に戻ります。



#### 5. 「ON/OFF」 を押し、録画モードに戻ります。

録画モードに移行すると、自動的に常時録画を再開します。

## 再生モードの画面の見かた



番号	名称	はたらき
①	表示モードアイコン	本製品が再生モードであることを示します
②	ファイルのロックアイコン	映像が保護されていることを示します ※常時録画で保存された映像にはロックアイコンがありません。
③	ファイル名表示	映像のファイル名を示します ファイル名の見かたは、( P.28 )参照
④	年月日 日時秒の表示	本製品に設定された時刻を示します
⑤	進行時間 / 動画時間	再生している映像の進行時間 / 動画時間を示します

### パソコンで再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページからダウンロードできる「専用ビューアソフト」か Windows 標準の「Windows Media Player」で再生することができます。

\* 上記以外の方法で再生すると、正常に再生できない場合があります。



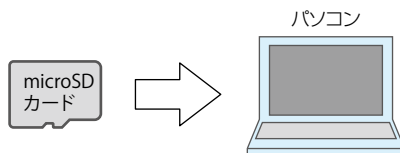
#### アドバイス

- ビューアソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。  
OS：日本語版 Windows 10  
CPU：Core2Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨  
メモリー：4GB 以上を推奨  
モニター解像度：SXGA（1280 × 1024 ピクセル）以上を推奨  
※タブレット PC を除く
- パソコンの OS アップデートによりビューアソフトが正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新版のビューアソフトをダウンロードし、お試しください（ P.43）。

1. 映像が保存されている microSD カードを用意します。

2. microSD カードをパソコンに挿入します。

パソコンによっては、挿入に専用アダプター（市販）が必要です。



3. 「専用ビューアソフト」か「Windows Media Player」で映像を再生します。

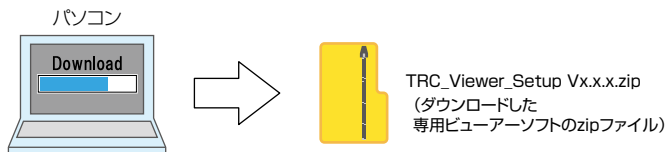
- \* 「専用ビューアソフト」を使用する場合は次項にしたがって「専用ビューアソフト」をダウンロードしてください。
- \* すでに「専用ビューアソフト」をダウンロード・インストールしている場合は、（ P.44 の①）を参照して再生してください。



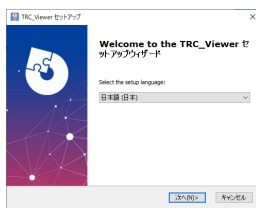
## 「専用ビューアソフト」のダウンロード方法

1. 弊社ホームページから「専用ビューアソフト」をダウンロードします。  
[ダウンロードサービス] - [ドライブレコーダー] - [専用ビューアソフトウェア] の順でクリックし、ダウンロードしてください。

\* 弊社ホームページ：<https://www.tricheer.co.jp/support/>

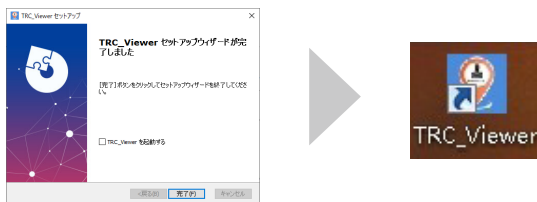


2. ダウンロードした「TRC\_Viewer\_Setup.zip」ファイルを解凍し、「TRC\_Viewer\_Setup.exe」を起動します。
3. セットアップウィザードの案内にしたがい、インストールを開始します。



4. インストールが終わると『TRC\_Viewer セットアップウィザードが完了しました』と表示されるので [完了] をクリックします。

デスクトップに出現したアイコンをダブルクリックすると専用ビューアソフトが起動します。



# 再生画面の見かた


## 専用ビューアソフトでの再生画面

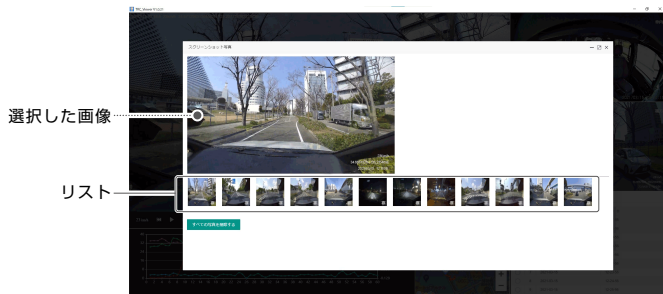


番号	はたらき
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビューアで読み込む、フォルダを選択するのに使用します</li> <li>microSD カード内の [CARDV] フォルダを選択してください</li> </ul>
②	キャプチャした静止画の一覧を見ることができます。静止画は必要な部分を拡大して見ることができます。
③	メイン画面をキャプチャし静止画ファイルを作成します
④	自車の速度を示します
⑤	G値と速度をグラフで示しています X  : 前後方向のG値 Y  : 左右方向のG値 Z  : 上下方向のG値 V  : 速度
⑥	: 2秒ずつコマ送りで巻き戻します : 再生します : 2秒ずつコマ送りで早送りします : 次の映像に進みます

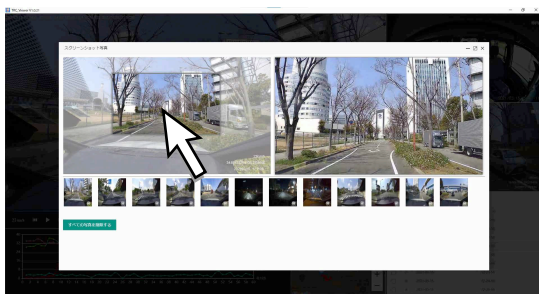
番号	はたらき
⑦	: 言語を変更します 日本語→英語→中国語 : メイン画面を切り替えます
⑧	映像の再生時間と総時間を示します
⑨	: 音量を調整します : 再生スピードを調整します : メイン画面を全画面表示します
⑩	カメラの名称を示します
⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>「CARDV」フォルダ内のフォルダ構成を示します</li> <li>再生したい映像をクリックすると再生が始まります</li> </ul>
⑫	地図と軌跡を示します

## 「スクリーンショット写真」画面の操作方法

1.  で「スクリーンショット写真」画面を開きます。  
画面を開くと、画面下部にキャプチャ画像のリストが表示されます。
2. リストから画像を選択します。  
選択した画像は、画面上部左側に表示します。



3. 選択した画像の拡大したいポイントにマウスカーソルを移動させます。
  - \* マウスカーソルで示すポイント中心に拡大領域（表示範囲を表示）を表示し、右側に指定した領域部分を表示します。
  - \* 右側に表示する領域は、マウスホイールで任意に拡大 / 縮小することができます。



## Windows Media Player での再生画面



番号	はたらき
①	速度を示します
②	緯度、経度を示します
③	録画した年月日時分秒を示します

※GPS 未受信時、①と②は映像内に表示されません。

※日付表示を OFF にすると、①～③は映像内に表示されません。

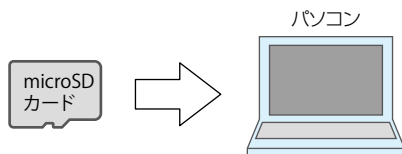
# 保存方法

映像をパソコンに保存します。また、映像の任意の箇所を切り出し、静止画ファイルとして保存することができます。

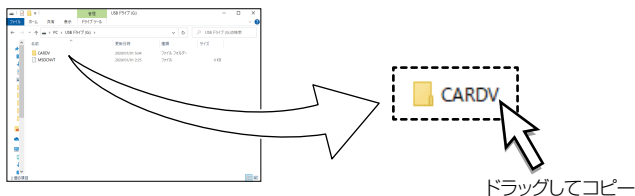
## 録画した映像をパソコンに保存する

### 1. microSD カードをパソコンに挿入します。

パソコンによっては、挿入に専用アダプター（市販）が必要です。

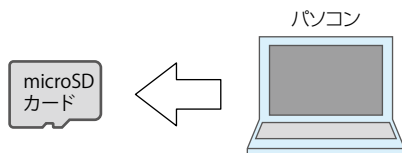


### 2. microSD カードのドライブを選択し、「CARDV」フォルダをパソコンの任意の保存先にコピーします。



### 3. microSD カードをパソコンから取り出します。

取り出した microSD カードは、本体カメラに挿入するか、大切に保管してください。



# 設定モードでの操作方法

本製品の設定は、設定モードで変更することができます。

## 設定モードの表示方法


### 1. 「」を押します。

録画中の場合は、「現在の録画を停止します」と表示されますので、「確認」を選択し、録画を止めてください。



## 設定モードの項目選択方法

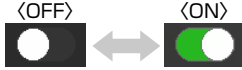
### 1. 「」で項目を選択します。

「」を押すと、ページ単位で移動します。



## ON/OFF の切り替え方法

1. 項目を選択した状態で「OK REC」を押します。



## 決定方法

1. 「OK REC」を押します。  
決定をすると、自動で前画面に戻ります。



## 前画面に戻る方法

1. 「⚙️」を押します。  
\* 設定モードの TOP ページより前画面に戻ることはできません。



## 録画モードに移行する方法

1. 「ON/OFF」を押します。  
録画モードへ移行すると、自動的に常時録画を開始します。



# 設定内容一覽

番号	項目		設定内容(初期設定：太字)	備考
1/5	録画方式	録画解像度	<b>1080P(FULL HD)</b> / 720P(HD)	本体カメラとリアカメラの解像度を設定します ※室内カメラは720Pに固定されており、変更できません
		録画フレームレート	<b>27.5fps(通常録画)</b> / 1fps(タイムラプス録画)	カメラのフレームレートを設定します ※全カメラ、共通の設定です
	音声録音		<b>ON/OFF</b>	マイクのON/OFFを設定します
	日付表示		<b>ON/OFF</b>	映像に年月日時分秒の埋め込み表示のON/OFFを設定します ※ ONにすると、GPS受信時は、速度と位置(緯度・経度)も埋め込み表示します
	HDR	フロントカメラHDR	<b>ON/OFF</b>	ハイダイナミックレンジのON/OFFを設定します
リアカメラHDR		<b>ON/OFF</b>		
2/5	カメラ輝度	フロントカメラ輝度	+3/+2/+1/ <b>0</b> / -1/-2/-3	露出を設定します +3 . . . . . -3 明るい 暗い
		リアカメラ輝度	+3/+2/+1/ <b>0</b> / -1/-2/-3	
	カメラ映像反転	リアカメラ上下反転	ON/ <b>OFF</b>	映像を上下反転させます ※カメラ取付方向によってON/OFFを切り替えてください
		リアカメラ鏡像	<b>ON/OFF</b>	LCD表示を反転します ※録画映像は常に正像です
		車内カメラ上下反転	ON/ <b>OFF</b>	映像を上下反転させます ※カメラ取付方向によってON/OFFを切り替えてください
		車内カメラ鏡像	<b>ON/OFF</b>	LCD表示を反転します ※録画映像は常に正像です
	イベント録画衝撃感度		OFF/低/ <b>中</b> /高	衝撃感度を設定します ※ OFFにすると、衝撃が検知されなくなります
	イベント録画上書き		<b>ON/OFF</b>	イベント録画の上書きON/OFFを設定します ※録画した映像を自動で上書きしたくない場合は、OFFに設定にしてください



番号	項目	設定内容(初期設定：太字)	備考
3/5	衝撃検知時ブザー音	<b>ON</b> /OFF	衝撃検知時のブザー音のON/OFFを設定します
	駐車監視	OFF/ 通常録画+衝撃/ <b>タイムラプス録画+衝撃</b> / 衝撃	各設定の動作は(□□P.32)参照
	駐車監視衝撃感度	低/ <b>中</b> /高	駐車監視録画時の検知レベルを3段階から設定します ※高に設定すると、より高感度になります
	画面スリープ	OFF/1分/ <b>2分</b> /3分/5分	LCD画面が非表示になるまでの時間を設定します ※OFFにすると、LCD画面が常に表示されます
4/5	音声案内	小/ <b>中</b> /大	音声案内の音量を3段階から設定します
	言語	<b>日本語</b> /English/簡体中文	本製品の表示を3言語から選択します ※音声アナウンスも変更されます
	日/時刻	年月日 時分秒 設定	年月日時分を任意で設定します ※GPSを受信すると、年月日時分秒は自動補正されます
	SDカードフォーマット	—	フォーマットをおこないます ※フォーマットをおこなうと、映像が全て消去されます。
5/5	工場出荷状態に戻す	—	設定項目を全て初期値に戻します
	バージョン	ファームウェアバージョン： DK01 Ver x.x.x Serial No.:xxxxxxxxxxxx	ファームウェアバージョンとシリアル番号を表示します

# ファームウェアを更新する

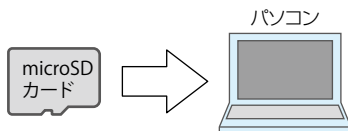
弊社ホームページよりファームウェアソフトを microSD カードにダウンロードすることで、本製品のアップデートをおこなうことができます。

## アドバイス

- 更新ソフトの準備がない場合、ホームページへの掲載はありません。

### 1. 本体カメラから取り出した、microSD カードをパソコンに挿入します。

パソコンによっては、挿入に専用アダプター（市販）が必要です。



#### ⚠ 注意

- microSD カードを再度本体カメラに挿入すると、記録データが初期化される恐れがあります。microSD カードを取り出した際は、PC に記録データを必ず保存してください。

### 2. 弊社ホームページにアクセスします。

\* 弊社ホームページ： <https://www.tricheer.co.jp/support/>

### 3. [ダウンロードサービス] をクリックします。

利用規約をよく読み、[同意する] をクリックしてください。

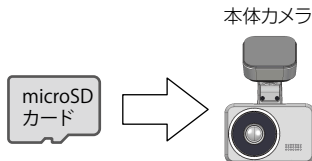
### 4. [ドライブレコーダー] - [ソフトウェア] の順でクリックします。

ダウンロードが始まり、任意の場所に zip ファイルが保存されます。

### 5. zip ファイルを解凍し、microSD カードの「CARDV」フォルダと同階層に「FW96670A.bin」ファイルをコピーします。

### 6. microSD カードをパソコンから取り出し、本体カメラに挿入します。

本体カメラの電源を ON すると更新が開始されます。本体カメラが起動したら更新完了です。設定モードでバージョン情報を確認してください。



#### ⚠ 注意

- 更新中は絶対に電源を OFF しないでください。

## 困ったときは

よくお問い合わせいただく質問とその回答をまとめて記載しています。下記の対処方法を試しても改善されなかった場合は、販売店または弊社ホームページの [サポート情報] から [よくある質問] をご覧ください。それでも改善されない場合は、弊社ホームページのお問い合わせフォームからお問い合わせください。

\* 弊社ホームページ : <https://www.tricheer.co.jp/support/>

No.	質 問	回 答	参照ページ
1	車のACCをONにしても電源ランプが点灯しない／電源が入らないのですが？	<p>本体カメラに電源が供給されていないおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源接続口と電源ケーブルがしっかり挿し込まれているか確認してください。</li> <li>電源ケーブルが車両側としっかり接続されているか確認してください。</li> <li>本体カメラのリセットスイッチを押してください。</li> </ul>	P.15 P.25
2	GPSが受信できないのですが？	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体カメラの取付位置付近のフロントガラスを確認してください。反射コーティングされているとGPS電波を受信しにくくなります。</li> <li>ビルの谷間のように視界が悪い場所では受信しにくい場合があります。視界の良い場所で確認してください。</li> <li>初めて使用する場合、GPSを受信するまで時間がかかる場合があります。</li> </ul>	—
3	カーナビで映像を見ることはできないの？	<p>ナビゲーションシステムで再生する場合は、microSDカードのMP4再生機能があるものに限られます。</p> <p>ご使用のナビゲーションシステムの仕様を確認してください。なお、ナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合があります。</p>	—
4	付属のmicroSDカードが壊れたけどどうすればいいですか？	<p>microSDカードのフォーマットをおこなってください。</p> <p>それでも正常に記録しない場合は、新しいmicroSDカードを購入してください。</p> <p>購入の際、製品仕様に記載しているmicroSDカードを購入してください。</p>	P.56 P.57
5	操作音、音声小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	<p>音声案内の設定を変更してください。</p>	P.51

## 困ったときは

No.	質 問	回 答	参照ページ
6	事故の衝撃でバッテリーが外れても録画できますか？	本体カメラ内蔵のスーパーキャパシタにより、バッテリーが外れる直前まで録画できます。映像を保存後、本製品はシャットダウンします。	—
7	記録したはずの映像がないんだけど？	本製品は常時記録型の映像記録装置です。microSD カードの記録可能時間の上限を超えると、古い記録から上書き保存していきます。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。	P.47
8	信号機が確認できないことがあるけど故障？	映像の記録周期とLED 式信号機の周期によっては、一瞬信号機が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号機が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号機が確認できない件については、弊社は一切の責任を負いません。	—
9	microSD カードに、映像が記録できないんですが？	次の理由により正常に動作していないおそれがありますので、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• microSD カードに異常はありませんか？異常がある場合は、microSD カードのフォーマットをおこなってください。</li> <li>• microSD カードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットをおこなっても異常がある場合は新しいカードに交換してください。使用できる microSD カードについては、製品仕様を参照してください。</li> </ul>	P.56 P.57
10	頻繁にイベント録画をおこなうのですが？	本製品はGセンサー感度を調整することができます。設定モードでイベント録画衝撃感度を「低」に設定してください。	P.50
11	時計がずれているのですが？	時計は通常GPS時刻に同期しますので、時刻設定で変更してもGPS時刻に変わります。	—
12	液晶ディスプレイに表示しないのですが？	本製品は設定により、起動後から一定時間経過すると画面を非表示にすることができます(録画は継続します)。画面を常に表示したい場合は、画面スリープの設定を「OFF」にしてください。	P.51

No.	質 問	回 答	参照ページ
13	誤動作をするのですが？	本体カメラのリセットスイッチを押してください。それでも改善されない場合は、microSDカードをフォーマットしてください。それでも改善されない場合は、本製品を工場出荷状態に戻してください。	P.25 P.51 P.56
14	液晶画面に輝点があるのですが？	液晶ディスプレイの特性です。不良ではありません。(有効画像数99.99%以上)	—
15	録画ができないのですが？	microSDカードが本体カメラにしっかり挿入されていることを確認してください。それでも改善されない場合は、microSDカードのフォーマットをおこなってください。それでも改善しない場合は、新しいmicroSDカードを購入してください。購入の際、製品仕様に記載しているmicroSDカードを購入してください。	P.56 P.57
16	記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none"> <li>• microSDカードをフォーマットすることで全ての映像を削除することができます。</li> <li>• 再生モードの一覧画面で映像を選択し、削除することができます。</li> </ul>	P.40 P.56
17	microSDカードの容量いっぱいになったらどうなりますか？	microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。「イベント録画上書き」の設定をOFFにすることで、古い映像が上書きされるのを防ぐことができます。	P.50
18	記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
19	microSDカードがパソコンで認識されないのですが？	お使いのSDカードリーダーはSDHCに対応していますか？付属のカードはmicroSDHCカードとなっているため、SDHCに対応している必要があります。	—

# microSD カードについて

## microSD カードをフォーマットする

- ・付属品以外の microSD カードを使用する場合、初回起動時に必ず本製品でフォーマットしてください。フォーマットをしないと、録画がうまくできない、録画可能時間が減少するなどの原因となります。
- ・安心してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めします。
- ・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

### アドバイス

- フォーマットをおこなうと、映像が全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

### 1. 「**⚙**」を押して設定モードを表示させます。

録画中の場合は、『現在の録画を停止します』と表示されますので、[確認] を選択し、録画を止めてください。



### 2. [SD カードフォーマット] を「**▲/▼**」で選択し、「**OK REC**」を押します。

『SD カードをフォーマットします  
全てのデータが消去されます』と表示されます。



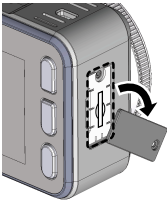
### 3. [確認] を「**▲/▼**」で選択し、「**OK REC**」を押します。

フォーマットが完了すると、『フォーマットを終了します!』と表示され、自動的に録画モードへ移行し、常時録画を開始します。

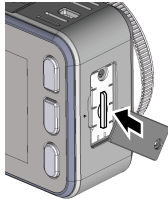


## microSD カードの取り出し方法

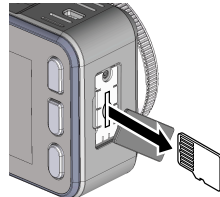
- ・ microSD カードを取り出すときは、microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入する時は逆の手順でおこない、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



カバーを倒す



microSDカードを押しす



少し飛び出したら  
microSDカードを取り出す

### ⚠ 注意

- 本製品が動作した状態（駐車監視録画中含む）で microSD カードの抜き差しをおこなわないでください。microSD カードの破損や映像ファイルの破損の原因となります。必ず車の ACC を OFF にした後、本製品の電源ランプが完全に消灯したことを確認してから microSD カードの抜き差しをおこなってください。  
※ 駐車監視機能が ON の場合は、駐車監視機能を OFF にしてから microSD カードの取り出しをおこなってください（ P.39）。
- microSD カードは、必ず液晶ディスプレイ側に microSD カードの端子部が見えるように挿入してください。向きを間違えて挿入すると本体カメラおよび microSD カードが破損します。

## microSD カード対応一覧表

- ・ 本製品と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしません。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～64GB
SDスピードクラス※	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

## microSD カードへの記録時間の目安

録画時間は、本製品で使用する microSD カードの容量と接続するカメラの数によって異なります。

### 常時録画 (27.5fps)

使用カメラ			microSD カード容量			
本体カメラ	リアカメラ	室内カメラ	8GB	16GB	32GB	64GB*
○	×	×	約61分	約122分	約245分	約491分
○	○	×	約30分	約61分	約122分	約245分
○	○	○	約20分	約40分	約81分	約163分

### イベント (衝撃 / 手動) 録画 (27.5fps)

使用カメラ			microSD カード容量			
本体カメラ	リアカメラ	室内カメラ	8GB	16GB	32GB	64GB*
○	×	×	約20分	約40分	約81分	約163分
○	○	×	約10分	約20分	約40分	約81分
○	○	○	約6分	約13分	約27分	約54分

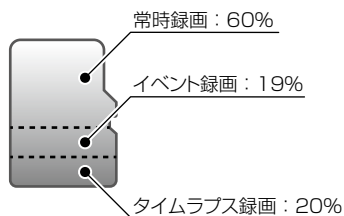
### タイムラプス録画 (1fps)

使用カメラ			microSD カード容量			
本体カメラ	リアカメラ	室内カメラ	8GB	16GB	32GB	64GB*
○	×	×	約10時間	約20時間	約40時間	約80時間
○	○	×	約5時間	約10時間	約20時間	約40時間
○	○	○	約3.3時間	約6.7時間	約13.3時間	約26.7時間



### アドバイス

- ※印の太枠は、本製品に付属している microSD カードを示しています。
- 記録時間は目安であり、絶対保証値ではありません。
- 解像度が変わっても、録画時間に影響はありません。
- 室内カメラはオプション品です。
- 録画方法の種類によって、microSD カード内で使用できる容量が異なります。それぞれに割り当てられる容量は以下の図を参照してください。



# 製品仕様

## 本製品

型番	DK01	
商品名	前後2カメラドライブレコーダー 室内カメラオプション対応可	
本体カメラ	レンズ画角	水平 137° 垂直 82° (対角 140°)
	F値	F2.0
	本体寸法	50.0×75.0×26.5mm(取付ステーを加えた最大高さ 105.9mm)
	本体重量	150g±5
リアカメラ	レンズ画角	水平 105° 垂直 53° (対角 130°)
	F値	F1.8
	本体寸法	29.8×23.5×23.5mm(取付ステー含む)
	本体重量	37g±5
液晶ディスプレイ	2型フルカラーTFT液晶	
撮影素子	200万画素カラーCMOSセンサー(STARVIS™技術搭載)	
HDR	○	
記録方式	通常録画/イベント録画(衝撃検知・手動)/駐車監視録画	
駐車監視 (最大約12時間録画)	通常録画/イベント(衝撃)録画、タイムラプス録画/ イベント(衝撃)録画/イベント(衝撃)起動録画	
音声録音	○(ON/OFF可能)	
衛星測位	GPS+みちびき	
Gセンサー	0.5/1.5/3.0G [0.09/0.18/0.36G] ※(3段階設定) ※[ ]は駐車監視録画時	
記録媒体	8~64GB[Class10]対応	
記録映像再生方法	・専用ビューアソフト ・Windows標準のWindows Media Player等	
電源電圧	DC9~32V	
消費電流(最大)	2カメラ時(本体カメラ+リアカメラ): 320mA(360mA)/13.8V	
動作温度範囲	-10℃~+60℃	
ケーブル長	・電源カメラケーブル: 約3.3m ・リアカメラケーブル: 約10.5m (リアカメラ: 約0.5m、リアカメラケーブル: 約3m、 リアカメラ延長ケーブル: 約7m)	

\* 本製品の仕様及び外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。  
あらかじめご了承ください。

## オプション品

型番	DK01-i
商品名	室内カメラ
レンズ画角	水平 170° 垂直 100° (対角 190°)
F値	F2.0
本体寸法	33.5 × 55.0 × 25.0mm
本体重量	27g ± 5
撮影素子	100万画素カラーCMOSセンサー
赤外線LED	940nm
消費電流(最大)	3カメラ時(本体カメラ+リアカメラ+室内カメラ): 450mA(500mA)/13.8V
ケーブル長	室内カメラケーブル: 約2m

\* 本製品の仕様及び外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。  
あらかじめご了承ください。

# さくいん

## アルファベット

GPS .....	9
HDR .....	50
microSD カード .....	56
STARVIS .....	9
Windows Media Player .....	46

## あ

イベント録画 .....	31
イベント録画上書き .....	50
イベント録画衝撃感度 .....	50
映像ファイル名 .....	28
液晶ディスプレイ .....	26
エラーメッセージ .....	24
音声案内 .....	51
音声録音 .....	50

## か

画角 .....	14
カバー固定ねじ .....	25
カメラ映像反転 .....	50
カメラ輝度 .....	50
画面スリープ .....	51
記録時間 .....	58
言語 .....	51
工場出荷状態 .....	51

## さ

再生モード .....	41
衝撃録画 .....	35
衝撃検知時ブザー音 .....	51
常時録画 .....	29
シリアル No. ....	11

設定モード .....	48
専用ビューアーソフト .....	44

## た

タイムラプス録画 .....	29
駐車監視衝撃感度 .....	51
駐車監視録画 .....	38
通常録画 .....	29
電源ランプ .....	25

## は

バージョン .....	51
日付表示 .....	50
ファームウェア .....	52
フォーマット .....	56
フォルダ .....	28
プライバシー保護録画 .....	37

## ら

リセットスイッチ .....	25
録画解像度 .....	50
録画フレームレート .....	50
録画方式 .....	50
録画モード .....	26

## わ

ワンタッチ録画 .....	36
---------------	----

# アフターサービス

本製品が故障した場合の対応について記載しています。下記にしたがい、修理をご依頼ください。

## 修理に必要なもの

故障した本製品、保証書

## 修理の流れ

1. 故障が疑われる場合は、本書の「困ったときは（□□P.53）」をご確認ください。
2. それでも改善されない場合は、弊社ホームページの【ドライブレコーダーに関する質問一覧】をご確認ください。

弊社ホームページ：<https://www.tricheer.co.jp/support/>

[よくある質問 (FAQ)] - [ドライブレコーダー] - [ドライブレコーダーに関する質問一覧]

3. それでも改善されない場合は、販売店または、弊社ホームページの【お問い合わせフォーム】から弊社にお問い合わせください。

## 保証期間中の修理について

- \* 保証書の規定したがって無料で修理および調整させていただきます。
- \* 保証期間中であっても有償修理となる場合がございます。保証規定をよくお読みください。
- \* 保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
- \* 保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- \* 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

## お客様へのお願い

- \* 修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した映像ファイルなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- \* 発送の際は、運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いいたします。

## アフターサービス

---

- \* 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- \* 有償修理の場合、作業完了後に代金引換便にてご返送させていただきます（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）。

### 個人情報の利用目的について

---

本製品に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

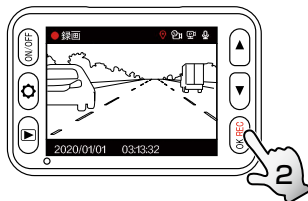
- \* 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するとき。
- \* 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするとき。

# もしも危険運転や身の危険に遭遇したら・・・

- ・危険運転に遭遇したり、身の危険に遭遇したりしたら焦らず行動してください。その際に記録した映像が上書きされないように、必ず microSD カードを取り出して安全な場所に保管してください。
- ・車両の運転中に危険運転や身の危険に遭遇した際の本製品の使い方と microSD カードの保管方法です。

1. 車線変更をして道を譲るか、十分な車間距離を保って安全を確保してください。

2. 走行中に、録画中の映像を保護したい場合は、「OK REC」を押してワンタッチ録画をおこなってください。  
「OK REC」を押すと、押してから 1 分間のファイルを保護します。



3. 危険運転に遭遇し、やむを得ず車両を停止した場合は、鍵・窓を閉めて外に出ないようにしてください。

車両を停止した際、エンジンを停止しないでください。エンジンを停止すると本製品の電源が OFF になり、映像を記録することができなくなります。

4. 身の危険に遭遇した際は、本体カメラの電源ランプの状態を確認し、録画されているか確認してください。

映像ファイルは古いデータから上書きされません。安全を確保した後、エンジンを停止させ microSD カードを抜きとってください。



5. microSD カードを保管します。

microSD カードは精密な電子部品で構成されており、以下のような場所で保管、取り扱いをすると映像ファイルが破損したり、microSD カードが破損したりします。

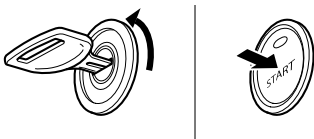
- ・ 静電気、ノイズのある場所
- ・ 水、湿気のある場所
- ・ 衝撃など強い力が加わる場所
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 腐食性ガスが発生している場所

# もしも事故が起きたら・・・

- ・事故発生時は記録された映像が上書きされないように、必ず microSD カードを取り出して安全な場所に保管してください。
- ・車両の運転中に事故が起きた場合の microSD カードの取り出し方法と保管方法です。

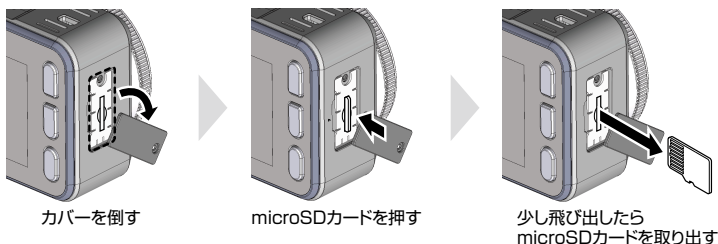
## 1. 車両キースイッチを OFF にします。

車両キースイッチを OFF 後、本体カメラの電源ランプが完全に消灯したことを確認してください。



## 2. microSD カードを取り出します。

- \* microSD カードが飛び出した際の紛失に注意してください。
- \* 取り出す際、手から落とさないように注意してください。microSD カードは小さいため、車内で落とすとシートの間などに入り込み紛失するおそれがあります。



## 3. microSD カードを保管します。

microSD カードは精密な電子部品で構成されており、以下のような場所で保管、取り扱いをすると映像ファイルが破損したり、microSD カードが破損したりします。

- ・ 静電気、ノイズのある場所
- ・ 水、湿気のある場所
- ・ 衝撃など強い力が加わる場所
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 腐食性ガスが発生している場所